

## 冬期の茶園で赤焼病の発生状況を調査

丹後地域は宇治茶の原料供給産地として現在46ヘクタールの茶が植栽されていますが、平成19年春に約7割の茶園で赤焼病が発生し、落葉などの被害が見られました。

病虫害防除所では今後の防除対策の基礎資料とするため、赤焼病の発生状況を国営開発農地6ほ場において経時的に調査しています。

平成19年と平成20年の調査では12月に赤焼病の初発を確認しましたが、平成21年12月の調査では発病は認められませんでした。

今後も継続して調査を行い、関係機関に情報を提供していきます。



茶園の赤焼病発生状況を調査



赤焼病（平成21年3月）

赤焼病：細菌病の一種で、葉では暗紫褐色の病斑が中肋に沿って拡大し落葉することが多い。発病には気温や品種の影響が大きい。

農 林 セ ン タ ー